

1. 内政

▼首班指名に関する動き

・9日、ギンプ自由党党首は、自由民主党がフィラト同党首を候補とすることを撤回しない限り、自由党は新しい与党連合結成に向けた協議には参加しない意向である旨発言。一方、自由民主党及び民主主義議員は、両党は自由党抜きで協議を継続する意向を表明。

・10日、ティモフティ大統領は、元与党連合AEI各党等との首班指名に関する協議を実施し、協議後、フィラト自由民主党を首班に指名する旨発表。同日、フィラト自由民主党党首は、大統領による首班指名に対し謝意を表明し、モルドバには欧州統合以外の道はないとして、内閣行動計画及び閣僚候補名簿案の提案に向けた協議を議会各党派及び無所属議員と行う意向を表明。ルプ民主党党首は、将来の政府がいかにか機能するかが重要であるとして、フィラト自由民主党党首の行動計画を検討する用意がある旨発言。一方、ギンプ自由党党首は、同党はフィラト自由民主党党首を支持しない旨発言。

・12日、ルプ民主党党首は、同党はフィラト自由民主党党首が自身の行動を改めることを条件に信任に賛成する旨発言し、自由民主党及び自由党に対し柔軟な態度で交渉に臨むよう呼びかけ。

▼自由党からの議員離反の動き

・12日、ギンプ自由党党首は、同党会派内にフィラト新内閣を信任する可能性のある議員がいる旨発言。同日、自由党内の改革を要求する同党所属議員7名、閣僚2名及び政府関係者のグループは、フィラト新内閣の信任への賛成を前提に元AEI各党との連立交渉に戻るべきであるとする声明を発表し、キルトアケ副党首(キシナウ市長)を党首にするこ

とを提案。一方、キルトアケ副党首は党首に就任する意向はない旨表明し、ギンプ党首は同グループ関係者を除名する意向である旨発言。

2. 経済

▼マクロ経済

・11日、世銀は、モルドバの中期的マクロ経済見通しとして2013年のGDP成長率が3.0%、2014年が4.0%、2015年が5.0%に成長するであろう旨発表。

・11日、中央銀行は、モルドバの外貨準備高が2013年の第1四半期で1.8%減で、3月末時点で24億7,000万ドルになった旨報告。

3. 外政

・8日、フィーレ拡大・近隣政策担当欧州委員は、2、3か月以内に協定本文が完成した場合、今秋の東方パートナーシップ首脳会合においてEU・モルドバ連合協定の仮署名が行われる可能性はある旨述べた上で、技術的準備に時間を要するため署名の可能性に関しては排除。

・11日、議会は、2012年11月1日に署名されたトルコとの査証相互免除協定及び同年12月13日に署名されたEU危機管理部隊への参加に関するEU・モルドバ包括協定を批准。

・12日、ルプ議会議長は、外務・欧州統合省の分割の可能性に関し発言。

4. 沿ドニエストル

・10日、シェフチューク「大統領」及びシュタンスキ「外相」は、モスクワにおいてカラシン露外務次官及びグバレフ沿ドニエストル問題担当ロシア大使と会談し、沿ドニエストルの社会・経済問題、紛争解決交渉の現状等に関し意見交換。

※本週報ではモルドバの首都名「キシニョフ」(ロシア語読み)を暫定的に「キシナウ」(モルドバ語読み)と表記しています。

(了)